


```
App.ActiveDocument.Sketch.addGeometry(Part.ArcOfCircle(Part.Circle(App.Vector(0.000000,0.000000,0),App.Vector(
0,0,1),10.022131,0.000000,1.570796),False)
# Macro End: C:\¥User\¥kaiken¥Desktop¥aa.FCMacro
```

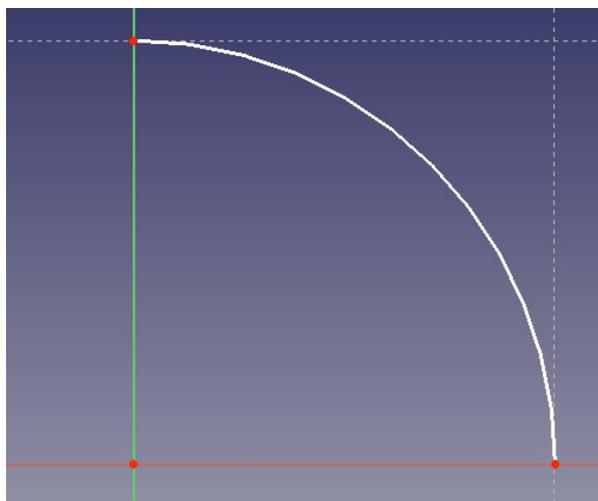
半径

始点角

終点角

円弧の作成

中心座標

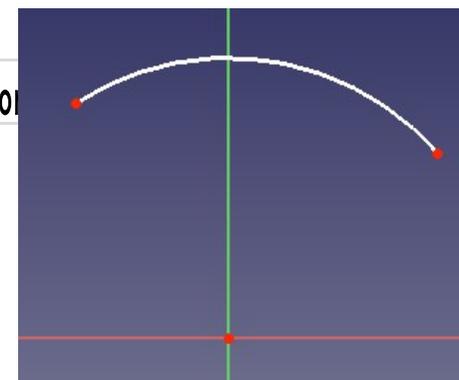


中心座標 (mm)	始点角 (deg)	終点角 (deg)
x	0	45
y	0	
z	0	半径(mm)
		15

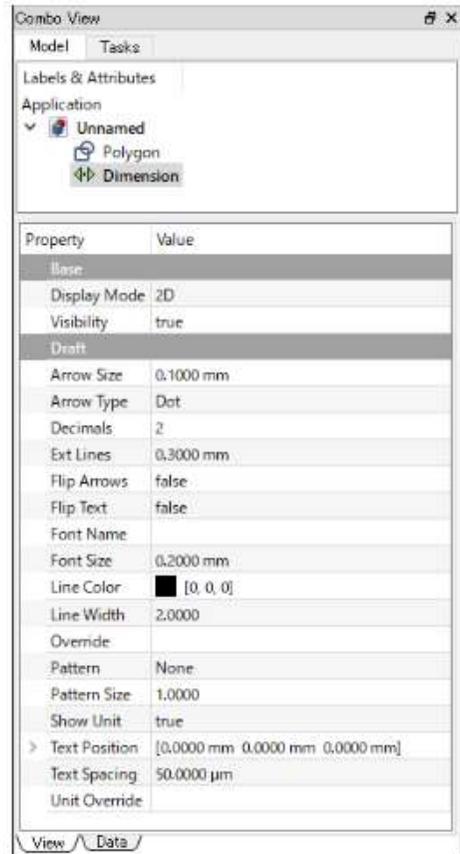
```
App.ActiveDocument.Sketch.addGeometry(Part.ArcOfCircle(Part.Circle(App.Vector(
0, 0, 0),App.Vector(
0,0,1), 15 ), 0.785, 2.093),False)
```

```
App.ActiveDocument.Sketch.addGeometry(Part.ArcOfCircle(Part.Circle(App.Vector(
```

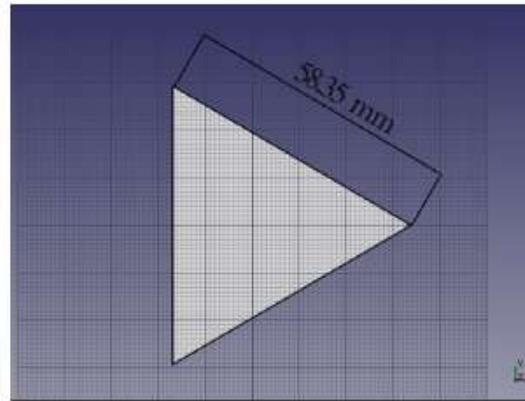
EXCELシートをいくつか経由して入力
⇒反映、マクロの実行



寸法記入の別法 点の座標と寸法位置指定



ビュー・タブ



寸法線の表示の調整

通常に作図
⇒ 寸法表示

寸法記入位置：指定して
https://www.xsim.info/articles/FreeCAD/tools/Draft_Dimension.html

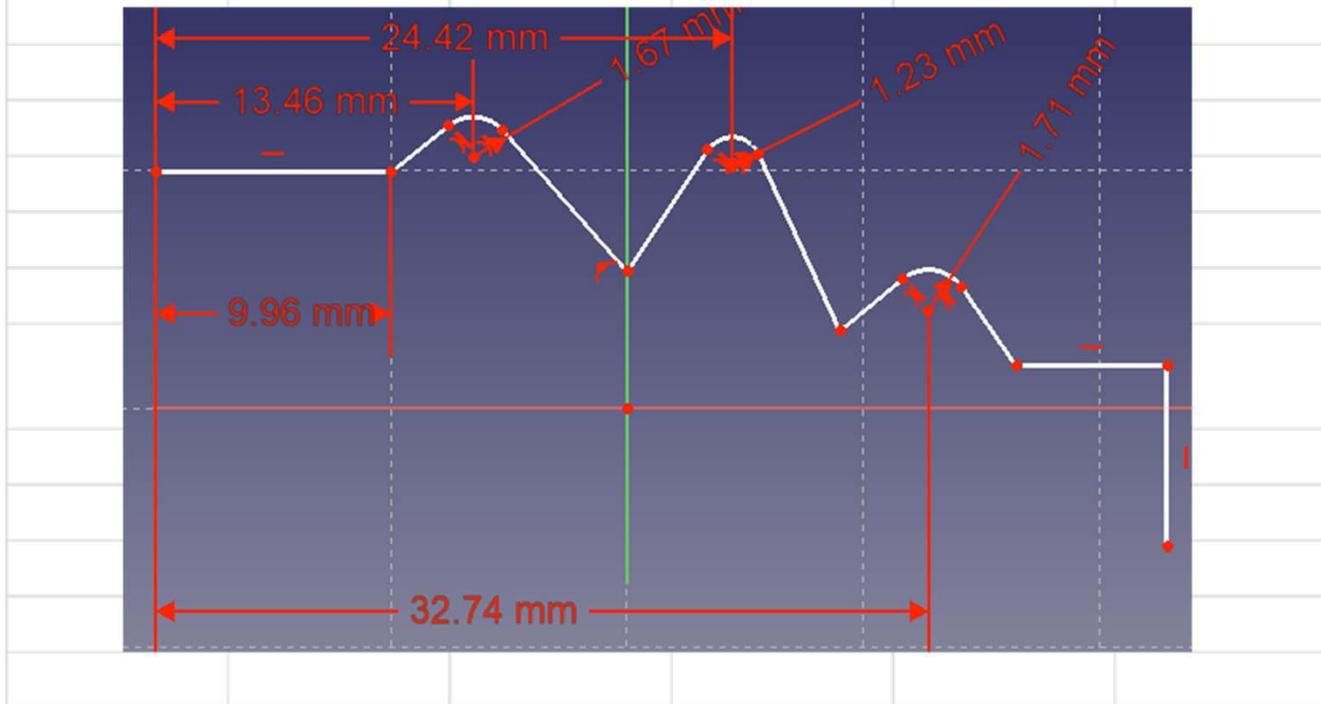
1. 寸法線の作成  を実行するとコンボビューのタスクタブに寸法線作成用のダイアログが表示されます。



各種CAD の操作方法に依存

順番に寸法を入れて作図可能

BT-B.FCMaxro -2(寸法入れ) -3(寸法移動:空)



簡単に線、円弧、使った書き方を簡単に説明
⇒それぞれ目的の寸法で書く必要がある。
⇒EXCEL計算式導入、直接座標を入力
(拘束条件不要)

効率化施策

1) CADの自動化

実用面で考えると、

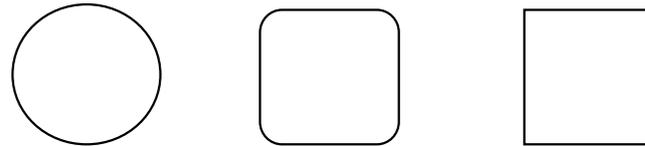
- ・製品群毎
- ・影響の大きいところから

⇒ 如何にまとめるかがカギとなる。

類似ですよ

半径 = 正方形の1辺の長さ / 2 ⇒ 円

フィレットRの大きさをゼロにすれば ⇒ 正方形



CAD言語の理解から設計検討資料とのリンクで自動化可能。

- ・費用対効果
 - ・画面を観察すること
- ⇒ スクリプトから見える

EXCELと組み合わせて作成できる
⇒ 寸法計算も